



2月
~3月

手作りの雛人形

国見町鬼籠の大日向本子さんが、約600個の手作り雛人形などを自宅に展示して、訪れる皆さんを楽しませています。リウマチのリハビリを兼ねて作ってきた人形の展示は今年で3年目。貝殻やペットボトルのふたを使ったものや、着物や帯を再利用して作ったものなど、材料も工夫されています。

雛人形のほかに、昔の遊びを再現したわらべ人形や、辰年にちなんだ竜の人形などもあり、3月末まで展示の予定です。

花や草の美しさをいかして 押し花展

2月
~3月

折り紙やダンス、フラワーアレンジメントなどの活動に取り組む「福祉レクリエーション優花」と「押し花安岐教室」（安岐町・堀ミサ子代表）の作品合同展示会が、いこいの村国東の2階廊下BANDA1ギャラリーで3月末まで開催されています。

会場には、花や草の素朴な美しさをいかした押し花の絵画やイラスト、折り紙を使った作品など、約80点が展示されており、会員の皆さんの創作活動の成果を見ることができます。



2月
16日

大きくそだて

2月16日（木）、国見中学校の3年生35人が、国見町千燈の六郷満山ふれあい森林公園で卒業記念植樹を行いました。

国見町商工会の主催で、青少年の健全育成を目的に毎年行われているこの植樹も今年で13回目。中田博之会長は「卒業を前に地域と学校が一体となって取り組む最後の活動です。生徒の皆さんもこの木のように大きく伸びて行ってほしいです」と話していました。

生徒の皆さんは3人一組になり、東国東郡森林組合職員の指導を受けながら、もみじの苗木22本を植樹しました。

男女アベック優勝で全国大会へ

1月
30日

1月に行われた県予選で、国東高校柔道部が男女アベック優勝を果たし、3月19日（月）・20日（火）に日本武道館で開催される全国大会への切符を手に入れました。

1月30日（月）、選手の皆さんが市役所を訪れ、男子は2年連続20回目、女子は3年ぶり2回目となる全国大会への出場を、三河明史市長に報告しました。

小野剛志主将（2年）が「市の代表として、日々の練習の成果を発揮できるように頑張ります」と決意表明。三河市長が「国東高校の伝統を背負って全国大会で頑張ってください」と激励しました。

